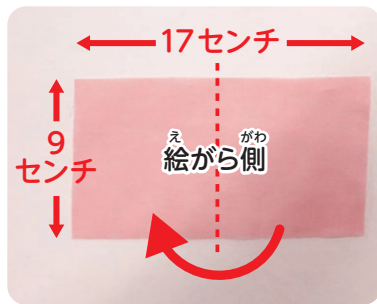


江戸時代から昭和までさかんに遊ばれてきたお手玉。  
お米を入れる「たわら」に似た形の、たわら型お手玉を作って遊びましょう。

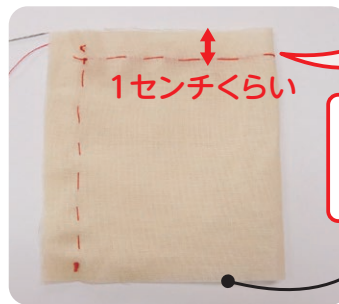
用意するもの：  
布、針、糸、あずきなど(中身)

## つくりかた

- ① 布をタテ9センチ×ヨコ17センチに切り、裏側が外になるようにして半分にあります。左のはしから1センチくらいのところをなみぬいし、あまった糸を切ります



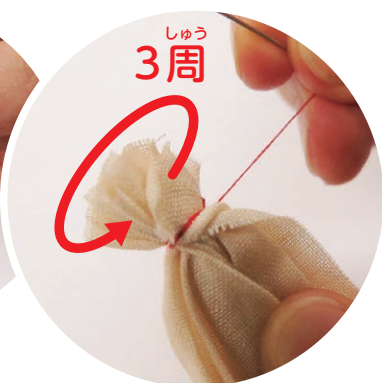
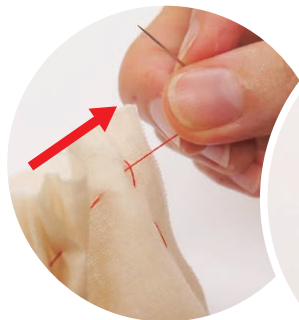
- ② 上のはしから1センチぐらいのところを、ぐるりと1周なみぬいします



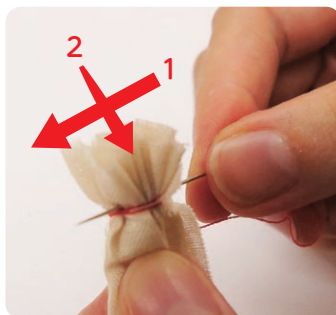
布は重ねてぬいしません  
はじめは「外側」から糸を入れ、おわりも「外側」で玉どめします

こちら側はまだぬいしません

- ③ ②でぬった糸を引っばって、口を閉じ、糸を3周巻きつけます



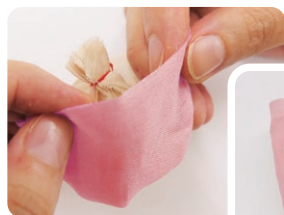
- ④ 巻きつけた部分を糸が交差するように、針を通します。



- ⑤ 糸を玉止めし、あまった糸を切ります



- ⑥ 布の表と裏をひっくり返し、袋の上から1センチぐらいのところを、1周なみぬいします

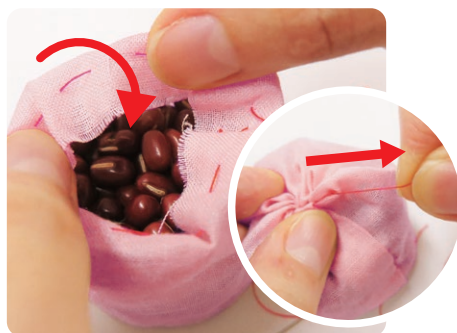


- ⑦ ぬい目から2センチくらいまであずき(中身)を入れます

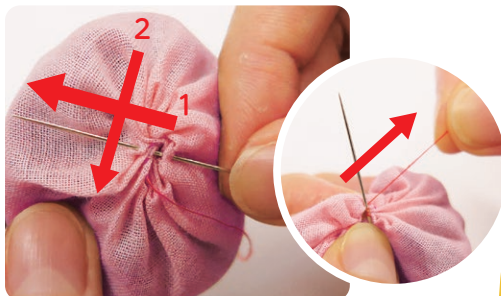


あずきのほかに、じゅずだまやお米も使えます

- ⑧ ぬいしろを内側におりこみながら糸を引っばって、袋の口を閉じます



- ⑨ 口の部分にしっかり針を通します糸が交差するように、針を通し、しっかりと玉どめします



完成!

